

## 事前評価個表

整理番号	10
------	----

地域（地区）名	<small>いぶりとうぶ</small> 胆振東部地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	白老町ほか4市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	道、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>胆振東部森林計画区は、北海道の中南部にある胆振総合振興局の東部に位置した地域であり、地形は緩やかな丘陵山脈、南は全市町が太平洋に面した東西に長い計画区である。</p> <p>本計画区の総面積233,900haのうち、森林面積は162,737ha（森林率70%）で、そのうちカラマツ及びトドマツを主体とした人工林の面積は59,314ha（人工林率36%）となっている。また、民有林内の林道延長は284,221mで、公道等を含む林内道路密度は3.9m / haとなっており、このほかに林道の支線としての作業道が整備されている。</p> <p>計画区内の民有人工林28,285haのうち10,400ha（人工林の37%）が 齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にある。これまでも間伐材の利用に取り組んできたが、さらに間伐遅れ林分の施業を行い、「間伐材等の林地残材」を積極的・有効的に利用していくとともに、間伐だけでなく「未立木地及び伐採跡地」の早期解消に努め、森林の公益的機能の発揮に努める。</p> <p>このため、胆振東部地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備： 20,500ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費： 4,550,180千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.57 (総便益(B) = 38,788,408千円、総費用(C) = 6,952,559千円)</p>
評価結果	<p>必要性： 保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性： 投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

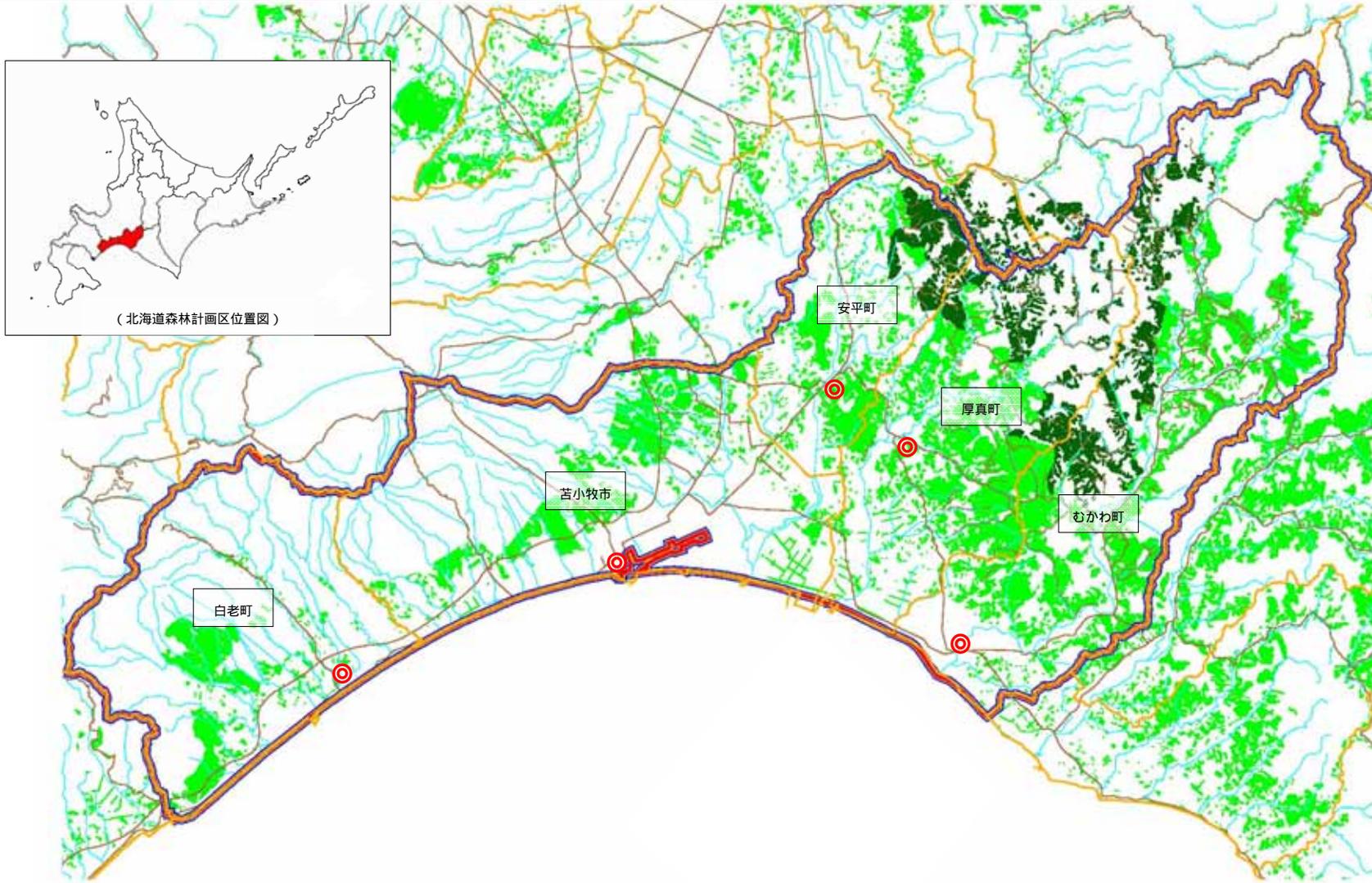
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 胆振東部

北海道  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	8,648,681	
	流域貯水便益	3,912,008	
	水質浄化便益	6,678,562	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,934,113	
環境保全便益	炭素固定便益	2,213,044	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,402,000	
総 便 益 (B)		38,788,408	
総 費 用 (C)		6,952,559	
費用便益比	$B \div C = \frac{38,788,408}{6,952,559} = 5.57$		

# 森林環境保全整備事業 胆振東部地域（北海道）概要図



(北海道森林計画区位置図)

凡 例	
計画区界	— (Brown line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Light blue line)
市町村界	— (Yellow line)
市町村役場所在地	◎ (Red circle with dot)
一般民有林（人工林）	■ (Light green)
道有林（人工林）	■ (Dark green)